

現場で働くプロに聞く

第20回

# Good Job!!

グッジョブ!!

# デジタルアートクリエイター

Digital Art Creator



くすだ さとし  
楠田 諭史 さん (惣領1町内) 職歴3年  
EUPHONIC LOUNGE ☎080-6404-0348

一目で「美しい」とわかる絵が楠田さんの作品の特徴で、直観的に「楽しんでもらえる作品」を目指す。そのため、古典絵画から最新のグラフィック、人気のイラストやゲームなどからヒントを得たりと、常にアンテナを張る。その絵のタッチや雰囲気などから、とりわけ「自分の世界観を表現し、独自性を追求する」、いわゆる“芸術家”のイメージとは一線を画す。

作品は「写真」がメインとなる。撮った写真の一部を切り取って、張り合わせることによって作品が生まれる。「人物や草木、風景などの写真」を使うため、作品には実在する人や動物などが登場する。そこから、写真によって異なる陰影などを事細かに描きこんでいく。数百、数千のパーツを重ね合わせてようやく完成。「手描きの絵と違って描き直しはいくらでもできる」が、その自由度が悩みの種になることも。「小さなパーツの位置を決めるのに半日、ということもざら」だそうだ。

「自分が楽しむためではなく、見た人に感動してもらいたい」との思いが強いため、作品のテーマやストーリー、方向性などはあまり設定しない。「描きたいものを描くのではなく、時代とともに変わっていく」。絵を描き始めた頃から変わらない思い。その時々自分を大切にその柔軟な姿勢は、これからも変わらない。



楠田さんの最新作

